

学校長御留書

加古川市立志方東小学校
令和5年度
学校便り夏休み特別号
第4号
R5.7.28発行

Let's enjoy challenge!!



27日(木)10時から11時30分まで、本校において「ENJOY チャレンジ」が実施されました。これは、小学校6年生と中学校3年生の希望者が集まり、市内に勤務しているALTと一緒に英語を使って交流し活動するという事業で、主催は加古川市教育委員会です。今年の参加者は、34名(志方3小学校)でした。まず、多目的室に集合しあいさつ、ウォーミングアップでアイスブレイク完了。その後、6年1組の教室も使用してチャレンジの時間です。チャレンジとはALTと1対1の会話を行

うことで、1人10分を1回、さらに5分を1回の2回チャレンジできます。最初は緊張気味でも上手に気持ちをほぐされて笑顔で会話していました。本校担当のALTが帰り際「みんな、素晴らしかった!」と言って、帰られました。何人かの子どもたちにも聞いてみましたが、「楽しかった!!」と笑顔で返ってきました。参加したからこそその体験で、それぞれいい学習になったと思います。

チャレンジした児童にはLanguage Passport(認定証)が発行されました。



令和5年度第1回職場人権研修実施

第1回の職場人権研修を実施し、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」がテーマである人権啓発DVD「バースディ」を視聴することで、理解を深めました。

○全ての人が自分らしく笑顔で過ごせる社会がいいと思います。自分の価値観で人を判断せず差別せず、その人がどう生きたいかを尊重すべきだと思います。人間として人を大切にしたいです。

「生まれてきてよかった」とすべての人が言える社会が理想です。

○母親の子どもに対する愛情が子ども自身を傷つけてしまっていたところが、このテーマの難しいところだと感じました。それに対して、父親があまり関心を持って子どもの問題に向き合っていないようにも感じました。また、親の考える「普通の幸せ」が子ども自身の「幸せ」とイコールではなく、価値観の押しつけになってしまっていることが印象に残りました。これは、トランスジェンダーがテーマであるということにかかわらず言えることだと思いますが、子どもたちとかかわるときに、自分自身の価値観を押しつけるのではなく、それぞれの個性や考えを尊重することを大切にしていきたいと感じました。

